

来年 10 月 10 日からジオ全国大会

伊豆半島各地にジオツアーも

美しい伊豆創造センターの森延彦会長(函南町長)は 28 日、鹿児島県霧島市で開かれている日本ジオパークネットワーク(JGN)全国大会の閉会式で、来年の全国大会を 10 月 10 日から 3 日間、伊豆半島で開催することを表明しました。主会場はプラサ・ヴェルデ(沼津市)を予定。大会 2 日目には数グループに分けて、伊豆半島各地へのジオツアーも検討します。

森町長は閉会式で、伊豆半島のジオガイドや市町職員約 50 人とともに登壇、「伊豆半島 15 市町全体として取り組む。大勢の方のご来場を心よりお待ちしております」とあいさつしました。

来年の全国大会参加者は 800 人以上を見込んでいます。大会のコンセプト案としては「連携」を想定。隣接する箱根ジオパーク、近隣の世界遺産(富士山、反射炉)、エコパーク(南アルプス)、企業などとの連携を検討していきます。

また、参加者によるジオツアーは通常、大会のメインプログラム終了後に行われますが、来年は 2 日目に入れる方向です。参加者に伊豆半島各地に足を運んでもらい、現地でジオガイドや地域住民と交流。翌日の分科会で、ジオツアーでの体験をベースに論議を深めてもらい、伊豆半島に対して提言してもらうことを検討しています。近く実行委員会を立ち上げて、準備を本格化させます。



【全国大会の主なプログラム】

	9日(日)	10日(月・祝)	11日(火)	12日(水)
	イベント(沼津)	大会初日(沼津)	2日目(各地)	大会最終日(沼津)
午前		JGN 総会	ジオツアー	分科会
午後	高校生発表	基調講演 高校生発表		分科会 閉会
夜		大交流会	地域交流会	

※プログラムは現段階のものであり、細部は実行委員会で詰める運びになります。

以上